

回復期リハビリテーション病棟



医療法人社団 盛翔会

浜松北病院



医療法人社団 盛翔会 浜松北病院

医療福祉支援センター 地域医療支援課

〒431-3113

静岡県浜松市中央区大瀬町 1568 番地

TEL：(053) 545-5190 (医療相談係)

FAX：(0120) 435-351

浜松北病院は一般病院として1983年にこの地に誕生して以来、「地域のために何ができるか」をいつも考え続け、早40年の歳月が過ぎようとしています。その間、社会情勢、医療情勢は大きく変化し、第4次医療制度改革において急性期病床、慢性期病床と医療の質の区分けがなされました。

私たちは主として急性期病床を今までどおり継続する傍ら、より良い療養生活も提供すべく一部を、慢性期を担う医療療養型病床に転換しました。その後、スムーズに急性疾患治療後の社会復帰や自立度・介護度の改善を図るという目的の下、さらに一部を回復期リハビリテーション病棟に転換しました。また、付帯施設であった歯科医院を院内に取り込み、歯科口腔外科としてより質の高い歯科治療が可能となりました。高齢化社会、核家族化社会において必要とされる高齢者ケアのための介護部門も法人内施設として、デイサービスセンター・居宅介護支援センター・訪問看護・訪問リハビリテーションなどの各センターを完備しております。このように急性期医療から回復期、慢性期医療、そして介護療養に至るまでの各段階に応じて皆様に安心してご利用いただける組織となりました。

外来診療科目は、内科・循環器科・神経内科・外科・消化器科・整形外科・脳神経外科・眼科・皮膚科・泌尿器科・歯科口腔外科・リハビリテーション科・麻酔科を網羅し、特殊性を持った高気圧酸素療法や、より専門的な医療として循環器科医・放射線科医によるカテーテル治療も行っています。私の得意分野である糖尿病疾患では患者会も組織され、専門スタッフによるチーム医療の実践により合併症の防止に成果を挙げています。また、基本的医療のひとつである栄養管理を、症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施する栄養サポートチーム(NST)を発足し、活動しています。これからも心のこもった最高の医療・介護をご提供できますよう職員一同より一層の努力をさせていただきます。

理事長

澤田健



この度、令和3年9月1日より院長に就任いたしました。浜松北病院は1983年に開院して以来、地域に密着した急性期医療・回復期リハビリテーション・慢性期医療を提供してきました。また、デイサービス、訪問看護、在宅介護支援事業も法人事業に設置したことで幅広い医療・介護サービスを提供できるようになり、医療と介護に精通したスタッフが充実しています。

超高齢化社会・多死社会・人口減少が進むわが国は、現在医療介護の大きな転換期にあり、政府は地域包括ケアシステムの構築と地域医療構想に踏み切りました。地域包括ケアシステムとは「住み慣れた地域で最期まで」をモットーに在宅介護・在宅医療の推進がその中核となっています。厚生労働省による終末期医療に関するアンケート調査では約6割の人が自宅で人生の最期を迎えることを望んでいました。しかしながら、自宅で終末期を過ごすことを望む人の多くが自宅で最期まで療養することは困難と考えており、その主な理由として「介護してくれる家族への負担」、「症状が急に悪化したときに直ぐ入院できるか不安」が挙げられました。また、在宅医療を提供する側のクリニックの先生方を対象とした「在宅医療に関する医師の困難・負担感についての実態調査」では、約6割の先生方が在宅医療に対する困難・負担感を感じており、その理由は「いざという時に患者を入院させる病院の確保」や「休日や夜間などの診療時間外の往診の対応」でした。以上のことを踏まえ、浜松北病院は地域包括ケアシステムの一部を担う病院として、在宅医療を受けている患者様に対して、①病状の急変時など在宅医療継続困難時の入院ベッドの確保、②介護者の介護負担軽減や介護継続困難時のためのレスパイト入院、③クリニックの先生方が担当する訪問診療患者様の急変時や訪問対応不可時の入院受け入れ、④施設受け入れ困難な在宅療養患者や独居老人の避難的入院と退院支援などを提供していきます。

地域医療構想とは、「将来人口推計をもとに病床数を減らし病床の機能分化と連携を進め効率的な医療提供体制を実現する取組み」としています。地域医療構想における浜松北病院の役割としては、医療と介護とのコーディネートを得意とする浜松北病院の特徴を生かし、①高度急性期病院からの患者様（高齢者・認知症・癌末期患者など）の転院受け入れ、②老人施設で病状の悪化などにより施設介護継続が困難となった患者様の入院受け入れ、③受け入れ患者様のリハビリとADL（日常生活動作）・嚥下機能評価に基づいた介護方針の調整などを積極的に行っていきます。

今後も安心して地域で過ごしていただくための医療・介護サービスを提供できるよう努力していく所存です。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

院長 竹内和彦



浜松北病院について

当院は、急性期病棟・地域包括ケア病床・回復期リハビリテーション病棟・医療療養病棟を併せもつケアミックス型の医療機関です。そのほか法人として介護保険事業所も併設しています。

診療科目

内科・循環器科・脳神経外科・整形外科・外科・消化器科・眼科・皮膚科・神経内科・泌尿器科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・放射線科

病棟

急性期一般病棟 72 床

回復期リハビリテーション病棟 32 床

地域包括ケア病床 35 床

医療療養病棟 60 床



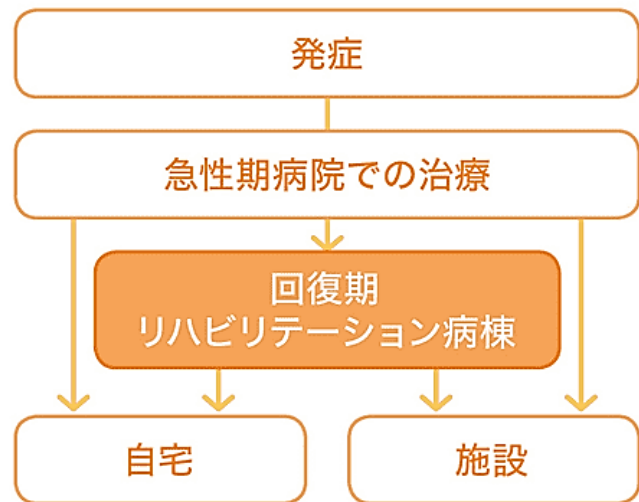
在宅介護支援グループ（介護保険事業）

居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション・デイサービス（3事業所）を有しています。

在宅で生活される要介護・要支援状態にある方が安心して生活を継続できることを目的とし、介護をされる方にとっても十分なサポートが続けられるよう努力してまいります。退院後、初めて介護保険サービスを利用される方も（ご希望の場合）法人内で連携を図りながら支援をさせていただくことも可能です。

地域における役割

回復期リハビリテーション病棟では、急性期治療を終えてもまだ医学的・心理的にサポートが必要な時期の患者様を対象に受け入れ、自然回復を促す環境をつくり、多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。



当院回復期リハビリテーション病棟の特徴

当病棟の特徴として、

- ① 365日切れ目のない継続的なリハビリテーションを実施
- ② 平均して1日2時間以上の集中的なリハビリテーションを実施
- ③ 治療が必要になった場合、専門的な精査・加療が可能

などが挙げられます。入院中に発症した合併症に関しましては、各科の担当医師と相談の上、可能な限り当院の急性期病棟での継続した治療を行っております。

早期に退院が可能となるよう

スタッフ一同、笑顔で

頑張っていきます！

病棟担当医

副院長

小松裕明



回復期リハビリテーション病棟入院料 1 を届出しています

厚生労働省が定める回復期リハビリテーション病棟の 1～6 からなる基準のうち、クリアすることが最も難しい「回復期リハビリテーション入院料 1」を届出しています。浜松市内においても数少ない施設基準にて病棟運営をしております。詳細につきましては以下の通りとなります。

365 日、年中無休でリハビリテーションを実施しています

1 日でも早い自宅復帰、社会復帰を目的として、機能回復や動作獲得に向け、リハビリテーションを集中的に切れ目なく提供します。（言語療法のみ日曜・祝日休み）

充実した職員数のもと質の高いリハビリテーションを提供します

当院では理学療法士 8 名、作業療法士 7 名、言語聴覚士 3 名おり、義務付けられている人員数※1 を大幅に上回る数のリハビリテーションスタッフを配置。常勤医の指示に基づきマンツーマンでのリハビリテーションの提供をしています。その他、看護師・社会福祉士も適切な人員数を配置し、丁寧な看護ケア・医療相談を実施しています。

※1…理学療法士 3 名以上、作業療法士 2 名以上、言語聴覚士 1 名以上、社会福祉士 1 名以上が義務づけられています。（常勤換算数）

在宅への退院率が 70% 以上の実績があります

患者様のご希望に寄り添いながら、在宅に退院できるように病棟で一丸となり支援します。リハビリテーションを強化し、在宅お戻りになれる患者様は常時 70% 以上となっています。

重症の方でも 3 割以上が改善して退院されます

入院時に、国の定める「日常生活機能評価表」に添ってベッドから起き上がれるか、座れるかなど生活動作 13 項目について点数化し、評価させていただきます。その点数が改善され退院した患者様が常時 3 割以上となっています。

リハビリテーションの実績指数が 37 以上あり、早期の能力回復と早期退院の実績があります

実績指数は、高ければ高いほど、「リハビリテーションによってより早く能力が改善し、社会復帰を果たしている」という客観的な数字となります。当院の回復期リハビリテーション病棟では、その実績指数が平均して 50 以上※2 となっており、早期の日常生活能力の回復と早期の社会復帰を果たしている実績があります。

※2…全国平均 23.0 点（回復期リハビリテーション病棟連絡協議会資料より）

チーム医療でリハビリテーションを提供します



医師を中心として、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・医療ソーシャルワーカー等の専門職種がチームを組み、リハビリテーション総合実施計画を立てていきます。患者様やご家族様が安心して在宅退院ができるよう院内でのカンファレンスを毎日開き、課題と想定される事柄について、チームでアプローチの方法を検討、実施していきます。

一人一人に合ったリハビリテーションを提供します



リハビリテーションと一口に言っても、患った病気や社会的な背景等によって目標とするべき状態は患者様によって異なります。そういった一人ひとりのニーズに対応するため、退院後の生活を想定し、必要な訓練を各スタッフがマンツーマンできめ細かく提供します。歩行能力の獲得や筋力・体力向上等の基本的な動作面の訓練はもちろん、家事（買い物・調理・掃除等）等の応用動作の訓練を必要に応じて実施しています。

医師からの病状説明を確実にを行います



入院生活に対し、不安を抱かれる患者様も少なくありません。不安を少しでも軽減できるよう患者様の心に寄り添ったケアを目標としています。医師から現状報告・入院期間等をお伝えする病状説明を随時行うことにより、今後のリハビリテーションの見通しを具体的にし、患者様やご家族様の退院後の不安を軽減するべく努めています。

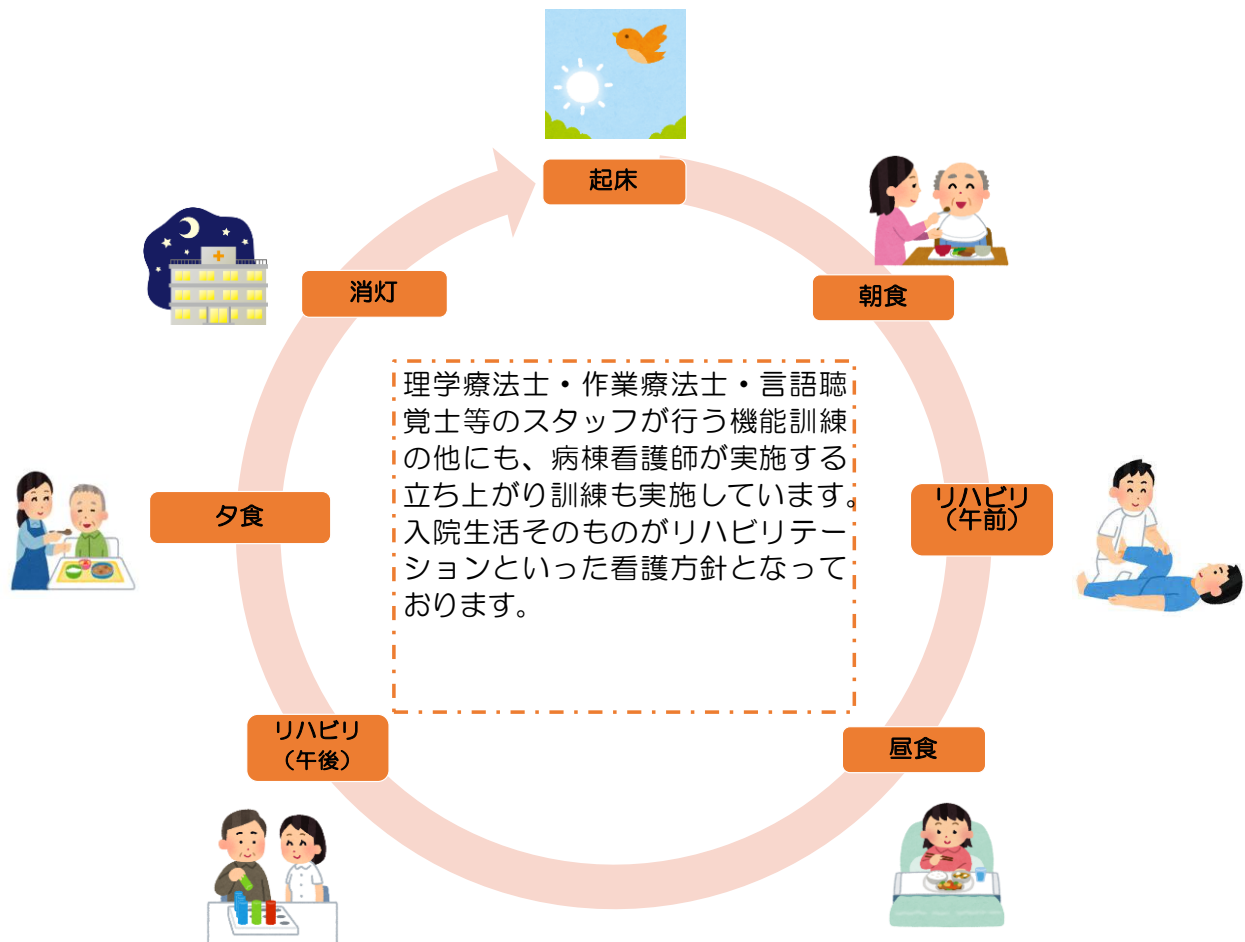
状況によりリハビリテーションスタッフが自宅訪問を行います



手すりの取り付けや段差の解消等の住宅改修を予定されている患者様に対して、手すりの取り付け位置や福祉用具のレンタル・購入について具体的にアドバイスしています。状況によってリハビリテーションスタッフが自宅訪問を行います。

より実践的かつ効果的にリハビリ訓練が行えるよう、ご自宅を想定した玄関・キッチン・一般浴槽・畳の部屋を完備しております。5階から見える景色と明るい雰囲気の中、リハビリテーションを提供します





転院までの流れ

現在入院中の病院職員の方に当院への転院希望がある旨お伝えください

病院間で紹介状等の必要書類を頂き、お受入ができるかどうか判定会をさせていただきます。結果につきましては、現在入院中の病院へご連絡いたします。※ご家族のお申込みは不要です。

お受入が可能な場合、現在入院中の病院と転院日時のご調整をお願いいたします。

転院日当日

本館一階（5 階建て）総合受付までおこしてください。お車でご来院の際、正面玄関のロータリーもご利用いただけます。

診察・検査・入院時のオリエンテーション等を実施いたします。到着から手続き終了まで約 2～3 時間かかります。予めご了承ください。

ご家族にご用意いただくもの

- 医療保険証（限度額認定証・障害・特定疾患等）
- 入院保証金 50,000 円（預り証を発行し、退院時にご精算いたします）
- 普段着（生活リズムを整えること、リハビリテーションの一環として起床時に着替えをお願いしております。運動しやすいお洋服のご準備をお願いいたします。尚、スカートはご遠慮ください）
- 運動しやすい靴（新規で購入を検討される方は、当院へ入院後リハビリテーションスタッフと相談の上、ご購入ください）
- 下着 5 枚
- フェイスタオル・バスタオル 5 枚
- ティッシュペーパー
- 洗面用具（歯ブラシ・歯磨き粉・コップ）
- 入浴道具
- 食事用エプロン（必要な方のみ当院の売店にてご購入ください）
- 洗濯物を入れるビニール袋
- お薬手帳

※上記以外にも患者様によっては必要になる物もございます。転院時は現在入院中の病院にてご使用されているものをそのままお持ちくだされば、当院職員が整理をさせていただきます

※オムツは当院のものを使用します。

※持ちものにはお名前のご記入をお願いいたします。

現在入院中の病院にご用意いただくもの※転院時にお持ちください

- 診療情報提供書（原本）
- 看護サマリー
- リハビリテーションサマリー
- 退院時処方（2 週間分）
- 画像諸記録（レントゲン・CT・MRI 等）
- 退院証明書

※上記以外の持ちものが必要な場合もございます。基本的には病院間で調整をさせていただきます。



お車

東名高速

浜松 IC→天竜・浜北方面北へ 3km→「笠井交番西」の次の交差点を左折 2km

新東名高速

浜松浜北 IC→152 号線を南へ 10km→「有玉北町」交差点を左折 1.6km→「大島町西」交差点を右折 0.4km

バス

浜松駅前バスターミナル 10 番乗り場より 系統番号：【77】
「労災病院 東海染工 イオン市野方面」行き乗車 「浜松北病院」下車
(運賃：片道 410 円)

※【77】であってもイオン市野止まりで当院方面まで来ない便もございますので、事前に発車時刻をご確認ください。

無料バス

無料巡回バス「きたぞう」運行中です。
ご利用を希望される方はお問い合わせください。

